

変わる雑司が谷、変わらない雑司が谷

～ 雑司が谷 歴史と文化のまちづくり懇談会開催される ～

昨日 6 月 17 日、法明寺書院(南池袋 3)において、地域の町会、商店街、歴史・文化・まちづくり関係者、行政らを集めた「雑司が谷・歴史と文化のまちづくり懇談会」が開催された。

副都心線「雑司が谷駅」の開業にあわせ、様々なメディアに取り上げられ、一躍脚光を浴びた雑司が谷地区。界隈には、鬼子母神(*)とその参堂、法明寺や大鳥神社、旧宣教師館、雑司ヶ谷霊園、そして「トキワ荘」から移り住んだ手塚治虫(塚の字は旧字)が創作活動を行なった「並木ハウス」も現存している。豊島区では、地区固有の資源を活かしながら、新たなまちづくりを展開することで、雑司が谷が「住みたい、訪れたい価値あるまち」として、大きく飛躍するチャンスを迎えていると考えている。

高野之夫豊島区長は、冒頭のあいさつの中で、「歴史と文化に溢れたこの地域の伝統を活かしながら、未来へ向かっていきたい。区内全体のモデルとなるまちづくりを雑司が谷から始めたい。」と語った。

懇談会は、11 月まで月一回のペースで開催され、分科会を設置するなどし、まちづくりの方向について話し合われる。話し合いの結果は、来年度以降の具体的事業計画に反映されていく。

また、懇談会の中では毎回 30 分程度、地域のキーパーソンらが、まちについて語る「雑司が谷スピーチ」も予定されている。

日 時	6 月 17 日 (水曜日) 午後 7 時 30 分～9 時	
場 所	法明寺書院 (南池袋 3-18-18)	
主 催	豊島区	
当日の様子 など	<p>この日、第一回懇談会の会場となったのは「法明寺書院」。隣接する鬼子母神堂(*)が、区内最古の建造物であるなど、地域を象徴する存在である。まさに歴史と文化の重みを体感する場所での開催となった。</p> <p>会場を提供した法明寺住職近江正典氏はスピーチの中で、「変わることだけが発展ではなく、変わらないことだけが伝統でもない。雑司が谷の素晴らしさを受け継いでいきたい。」と語った。</p>	
補足事項	<p>* 鬼子母神の「鬼」の字は、頭に角のない字です。</p> <p>今後の予定 第 2 回 7 月 28 日 スピーチ 元中央公論編集長 粕谷一希 氏 第 3 回 8 月 24 日 スピーチ 郷土史家 矢島勝昭 氏 第 4 回 9 月 29 日 スピーチ 並木ハウスオーナー 砂金宏和 氏 第 5 回 10 月 27 日 スピーチ 「としま塾」代表委員 伊藤榮洪 氏 第 6 回 11 月 26 日 中間まとめ</p>	
写 真 * 写真はメ ールで送り ます	<p>第一回まちづくり懇談会</p> 	<p>冒頭あいさつに立つ高野区長</p> 
問 合 せ	政策調整担当副参事	